

The 2 Chome Times 2026年 2月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO333号

2026年・2月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス2月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上品雄 <https://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★デジタルサイネージ、デモを行いました

1月23日（金）に2丁目振興組合事務所ですでに進行中のデジタルサイネージのデモンストレーションが行われました。アートスクエア（生田筋のブリッジの陸橋部分）に現在銅板でアート作品の紹介がされていますが、同じ位置にデジタルサイネージが設置され、新たに収録される作品も含めて詳しい情報が美しく見やすい画面で紹介されます。もちろんアート作品だけではなく、公的な緊急情報であったり、交流のある他都市の観光案内、「夢未来号」の紹介も含めて、パソコンのソフトに取り入れた内容が簡単にデジタルサイネージで再



現でき、情報の更新も容易です。当日のデモンストレーションではいつも大変お世話になっているサンコーデンキさんが分かりやすい説明をして下さり、イベント会社のタモンさんにも情報を共有して頂き、内容を詰めて参ります。将来的にはアーケードから大型のデジタルサイネージを設置する事も検討しています。順調であれば3月末までには設置される予定で、皆様も是非注目して下さい。

★通行されるお客様の直の声 街の美観・安全について

アートスクエア（生田筋）にあるインフォメーションの運営報告委員会が毎月開かれており、その中でお客様とのやり取りや問題点などに焦点を当てて様々な意見が出されています。先日の報告会でもあるお客様からの声が報告されていました。それは70名の男性から「商店街に落ち葉などが見られず、とても綺麗だ。どうしてなのか、教えて欲しい」というものでした。組合員の皆様から大きな御協力を頂いている月に一度の美化活動と、組合が定期的に業者をお願いしている清掃・ワックス塗布によるものです。普段何気なく接している街の清潔さは頻繁には来られないお客様にとってはそれだけ新鮮だという事です。同じ様に街の真ん中での悪質な業者によるアンケートに見せかけた商行為や怪しげな勧誘などが私達の街には一切ないのに皆様は気付かれていましたか。何度かご紹介しておりますが、これはPOBという組織に街の警備をお願いしているからです。皆様の店舗でも何かトラブルがあり、困った時にはプロの方々に相談できますのでどうぞ2丁目の組合事務所までご連絡頂くことで、アドバイスを受けることができますからご安心下さい。「街の清潔と安全」あつての経済活動ですので、覚えておいて下さいね。



★ナイトミュージアム稼働10年 メンテナンス中

2016年の稼働から10年、多くの来街者の皆様に癒しの一時を届け、夜の三宮センター街2丁目を彩ってきた“ナイトミュージアム”。屋外の常設照明としては全国的にも珍しいムービングライトを採用し、神戸のピアニスト天宮遥さんのオリジナル曲に合わせた演出照明など、毎晩休みなく稼働して来ましたが、照度の低下や稼働が不安定になってきているものがあり、年末から運転をお休みしています（その代わりオールLEDの通常照明で夜も明るくしています）。設置当時からメンテナンスでもお世話になっている照明機器メーカーのウシオライティングさんとアーケードの保守をおまかせしているサンコーデンキさんの強力タッグで再開に向け機器の調整を準備しています。再開まで暫くの間お待ちください。



★ヴィッセル神戸 主力3選手が来街！今期も活躍を期待、応援しましょう

毎年、KOBE・夢未来号・沖縄の出発式にマスコットキャラクターのモーヴィ君が子供さん達の見送りに参加するなど街の取り組みにご協力して下さっているサッカーJ1のヴィッセル神戸。開幕直前に佐々木大樹選手、前川篤也選手、郷家友太選手、主力3選手が三宮センター街2丁目を訪れました。商店街振興組合の事務局にも来てくださり、理事有志と共に今シーズンの活躍を誓いました。去年は惜しくも無冠に終わりましたが、2月6日の今期開幕戦ではPK戦を制し見事白星発進！郷家選手は昨年末ヴィッセルに復帰、佐々木選手は今シーズン副キャプテン就任、前川選手は初戦のPK戦で好セーブ連発とさっそく大活躍！これも三宮の応援効果かも？！ぜひ読者の皆様も一緒に応援しましょう！バモス！ヴィッセル神戸！



試合予定などはヴィッセル神戸公式サイトをご確認下さい。 <https://www.vissel-kobe.co.jp/>

★編集後記

関西国際空港、大阪国際（伊丹）空港に加え、子会社を通じて神戸空港を運営する関西エアポート（大阪府泉佐野市）の山谷佳之社長は2025年4～9月期決算発表の記者会見で、「神戸空港を国際化することで、関西全体のパイ（航空需要）が広がるという視点は非常に重要だ」と強調され、さらに神戸空港は「インフラが整っていない状態」・「育てていく空港だという位置付け」と付け加えました。国際定期便の就航に向け、本格的な国際線ターミナルの整備（ちなみに2026年春には制限エリア内にラウンジもオープン予定！）もこれからで、都市機能をみても三宮再開発は、現在工事中です。このため神戸空港も「中長期の目線、3年先、5年先、そして10年先にはこういう空港になってほしい」ということで、一つずつ歩みを進めていきたい」と話をされました。現在、三宮ではビルの建て替え工事の検討がこれから加速化していく段階にありますが、神戸空港の10年先の未来と三宮の10年、或いは15年先の未来が交差し、素晴らしいインフラの整った都市に三宮が高められていく姿を想像するだけで楽しくなってきます。隣国との微妙な関係がこの先も続いて、この方向性は変わらないと確信しています。これから暖かくなって来ますが、皆様も神戸空港を利用してご旅行される際に、随時目にする変化の兆候を楽しんで下さい。

美しい街 共に歩む

ビルメンテナンスつかめ管財株式会社 078-371-3589

